

新聞がはこんだ ニッポンに、もっと、いつも、いいニュースを。
HAPPY NEWS 2007 結果発表

4月6日は「新聞をヨム日」。

今年も2007年度のすてきなニュースとコメント「HAPPY NEWS 2007」の結果を発表します。
 4回目となる今回、応募はついに1万件を超え、10,357件ものニュースとコメントが集まりました。

HAPPY NEWS 2007

★ 80点取ったらコロッケ2個

「今日もコロッケ、明日もコロッケ」という、私の世代なら皆知っている歌があった。小学生のころ、祖母にお使いを頼まれたときは（母が働いていて、食事当番は祖母だった）、必ずお肉屋さんへ寄って、大好きなコロッケを買って帰ったことが懐かしく思い出された。その当時、安くておいしいコロッケは、庶民の台所の強い味方だった。まだ日本に「飽食」という言葉が存在しなかった昭和30年代のこと。

そしてもし今、私が高校生で、この記事のコロッケおじさんの近所に住んでいたら…と想像する。きっと勉強を頑張って、テストで良い点数を取り、コロッケをたくさんゲットしたことだろう…もちろん、夕食のおかずにはせずに自分のおやつにして食べてしまうことだろう。近くの高校に通うみんなが本当にうらやましい！「コロッケおじさま、これからもお元気で作り続けて高校生諸君を温かく見守ってください。よろしくお祈りします」と心からのエールを送りたい。

（朝日新聞 2007年12月13日付夕刊を読んで）

55歳 女性(愛知県)

80点取ったらコロッケ2個

岐阜・御嵩 答案持参でサービス

79歳、高校生に檄

★ 「転んでも…」

この顔この仕草、坊主頭でこっけいな容姿の写真に思わず口元が緩んだ。このひょうきんな顔に誘われ、記事を読み進めてぶったまげた。ひざ下がない！それも私と同じような病気で失ったと知って、なおさら驚いた。

私自身、この春体調を崩して突然入院の身となったのである。退院後も今までの生活習慣を改めてはいるものの、病気の悩みは限りなく、クヨクヨしながら今日まで生きてきた。

でも、この記事を読んでから自分の気持ちを切り替えることにした。三遊亭歌雀さん、一、二度聞いた覚えがある落語家さんだが、これからは、大の大大ファンになりたい。前向きで転んでもただでは起きないというこの根性を…。私も見習って目標としたい。そして同類者として、思いっきり声援を送りたい。今、病で苦しんでいる人にとって、どんなにか心の支えとなるだろう。

ガンバレ、病気に屈しない歌雀さん。

（読売新聞 2007年8月21日付夕刊を読んで）

※本記事に登場する三遊亭歌雀さんは、2008年3月6日、逝去されました。

62歳 男性(東京都)

交差

「転んでも…」

日本新聞協会「HAPPY NEWS 2007」HPより



編 集 後 記

2008年今年、オリンピックイヤーです。4年に一度のスポーツの祭典です。世界60億人、各国の、代表選手が集い、この4年に一度の大会に、全能力を結集し、個人、またはチームで金メダルを獲得するために勝負を繰り広げます。選手のみならず、世界の人々がこのオリンピックを、固唾を飲んで、また祖国の活躍を、期待をして見守ります。これほど、世界の人々が同じ場所に集い、また注目することがあるでしょうか。

また、オリンピックは「平和の祭典」でもあります。世界の人々が、スポーツを通じて交流し、そして真剣な勝負を展開し、お互いの健闘をたたえ合う。本当に素晴らしいことです。

しかし、このオリンピック、ときに、政争の具にされることがあります。今回の大会も、そのような様相を呈しています。聖火リレーの妨害、開会式への欠席…本当に嘆かわしい限りです。スポーツと、政治を混同すべきでないと思います。選手のためにも、世界の子供達の為にも、4年に一度のオリンピック、素晴らしい大会にしてほしいものです。

昨今の、政治経済（建設業界も）、暗い話題が多い中、“北京オリンピック”この夏、明るく、熱い話題を提供してくれることを、期待しています。

経営改善研究委員 今岡 幹晴

出雲弥生の森博物館



—表紙のことば—

イラストと文 渡部良治

古代出雲を中心とする専門性の高い遺跡博物館と、発掘調査の拠点となる埋蔵文化財調査センターの機能を併せ持つ「出雲弥生の森博物館」が、平成22年春の開館をめざして出雲市大津町西谷地内で準備中です。

出雲地域には弥生時代から古墳時代の古代遺跡が数多く確認され、今なお新しい発見が続くなど全国から高い関心が寄せられ、平成8年から建設構想が練られていました。また、平成12年には隣接地の西谷墳墓群が国史跡に指定されています。

調査研究の成果を様々な教育活動に活用し、次世代を担う子供たちに「ふるさと出雲」にたいする自信と誇りを持たせる教育施設としての役割を担うものとされています。

また、一昨年開館した「古代出雲歴史博物館」や、斐川町の「荒神谷博物館」、雲南市の「加茂岩倉遺跡ガイド」などと連携して、出雲の古代遺跡を目玉とした「新たな文化観光ルート」としての創出ができるものと期待されています。



C O N T E N T S

- 巻頭言／中筋 豊通〔(社)島根県建設業協会出雲支部長〕…1
- 新任のご挨拶
 - ／林 正道〔国交省出雲河川事務所長〕……………3
 - ／中川 哲志〔斐伊川・神戸川総合開発工事事務所長〕…4
 - ／宇山 洋〔出雲警察署長〕……………5
- モデル店社指定—地域全体の安全衛生管理水準の向上に向けて
 - ／谷口 国雄〔(有)森山組 労務安全課長〕……………6
- 経審の改正点……………7
- 建設共済制度改革のお知らせ……………9
- 安全パトロール結果について
 - ／高橋 道夫〔安全委員〕……………11
- HAPPY NEWS 2007……………13
- 編集後記
 - ／今岡 幹晴〔経営改善研究委員〕……………14